

令和2年度（2020年度） 第1回 函館市社会教育委員の会議 会議録

- 1 日 時 令和2年（2020年）7月30日（木）14時～15時45分
- 2 場 所 函館市役所8階 第2会議室
- 3 内 容
 - (1) 正副委員長の選出について
 - (2) 令和2年度（2020年度）社会教育事業について
- 4 出席委員 13名（池田委員，外崎委員，長谷川委員，古俣委員，谷川委員，瀬戸委員，市田委員，佐々木（香）委員，神田委員，吉川委員，佐々木（学）委員，鄭委員，水野委員）
- 5 欠席委員 2名（横山委員，横手委員）
- 6 事務局出席者 7名（堀田生涯学習部長，池田生涯学習部次長，神生涯学習文化課長，木村スポーツ振興課長，長谷山文化財課長，阿部博物館長，円山生涯学習文化課主査，葛西生涯学習文化課主事）

7 発言要旨

円山生涯学習文化課主査

それでは定刻になりましたので、ただいまから令和2年度（2020年度）第1回函館市社会教育委員の会議を開会いたします。

本日は何かとご多用のところ、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。私は生涯学習文化課主査の円山と申します。

本日の会議は午後3時30分頃の終了を予定しております。

はじめに、委員の出席状況について報告いたします。

委員の出席状況につきましては、委員15名中13名の委員の出席をいただいております。函館市社会教育委員の会議規則第5条第1項の規定に定める過半数に達しておりますことから、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

つづきまして本日の資料の確認をさせていただきます。

次第、資料1「社会教育委員について」、資料2「令和2年度（2020年度）社会教育事業概要」、委員名簿の4点は事前に送付させていただきましたことかから机上配付しておりますのでよろしくお願い致します。そのほか、本日、机上配付した資料は、座席表、函館市民会館のリーフレット、函館市亀田交流プラザのリーフレット、企画展「津軽海峡北岸の縄文遺跡」チラシ、令和2年度博物館講座一覧、新型コロナウイルス感染防止対策一覧、縄文スタンプラリーのチラシとなっております。

<p>円山生涯学習文化課主査</p>	<p>す。本日、事前送付資料をお持ちでない方、机上配付資料で不足している資料がある方はお知らせください。</p>
<p>堀田生涯学習部長</p>	<p>それでは次に生涯学習部長より一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>(部長挨拶)</p>
<p>円山生涯学習文化課主査</p>	<p>本日の会議は委員改選後、初めての会議となりますので、委員のみなさまをご紹介申し上げます。</p> <p>(各委員の紹介)</p>
<p>神生涯学習文化課長 円山生涯学習文化課主査</p>	<p>次に、教育委員会職員をご紹介いたします。</p> <p>(教育委員会職員の紹介)</p> <p>次に、函館市社会教育委員の会議について、生涯学習文化課長から説明をいたします。</p> <p>(資料1に基づき、社会教育委員について説明)</p>
<p>円山生涯学習文化課主査</p>	<p>それでは本日の議題に入らせていただきます。</p> <p>議事(1)「正副委員長の選出」につきまして、このまま事務局で進行させていただきます。</p> <p>「正副委員長の選出」につきましては、函館市社会教育委員の会議規則第2条において「会議に委員長及び副委員長を、それぞれ1名を置き、社会教育委員の互選とする。」と定められておりますが、みなさまいかがいたしますか。</p>
<p></p>	<p>「事務局一任」</p>
<p></p>	<p>ただいま事務局一任という声がありましたので、事務局から委員長を推薦させていただき、副委員長については委員長から推薦していただきたいと思いますがいかがですか。</p>
<p></p>	<p>「異議なし」</p>
<p></p>	<p>委員長には、函館市青年サークル協議会の理事として青年団体や若者に対する活動の支援、学習機会の提供を行うなど社会教育に造詣が深い池田委員にお願いしたいと思いますがいかがですか。</p>

	(拍手)
円山生涯学習文化課主査	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員長は池田委員に決定しましたので、池田委員長には正面の席にお移りください。</p>
	(池田委員長 席移動)
	<p>それでは、池田委員長よりご挨拶をいただき、議事進行をお願いしたいと思います。池田委員長、よろしく申し上げます。</p>
池田委員長	<p>(委員長挨拶)</p> <p>それでは、次第に沿って議事を進めさせていただきます。</p> <p>先ほど、副委員長は委員長の推薦で決めるということでしたので、副委員長を推薦させていただきます。</p> <p>前期においても副委員長を務められた北海道教育大学函館校教授の外崎委員に引き続き副委員長をお願いしたいと思いますが、いかがですか。</p>
	(拍手)
	<p>副委員長は外崎委員に決定いたします。</p> <p>副委員長には席を移動していただき、一言、ご挨拶をお願いします。</p>
	(副委員長 席移動)
外崎委員	(副委員長挨拶)
池田委員長	<p>それでは会議を進めます。</p> <p>報告(1)の「令和2年度(2020年度)社会教育事業について」、事務局より説明願います。</p>
神生涯学習文化課長、木村スポーツ振興課長	(生涯学習文化課、スポーツ振興課の順で各課長が資料に基づき説明)
池田委員長	<p>それでは、ただいま生涯学習文化課とスポーツ振興課から説明がりましたが、ご質問あるいはご意見はございますか。</p>

佐々木委員

2つ質問がございます。1つ目は、生涯学習文化課にお聞きします。
先日、中央図書館の研修室を利用した時、参加者の方から「図書館の入り口には消毒液があったので消毒したのだが、研修室の前には消毒液が用意されていないので、研修室に入る前に手を洗った方が良いか。」という質問を受けました。確かにそうだということで、皆で手を洗いに行ったのですが、研修室には消毒液を置く予定はないのですか。

次に2つ目の質問ですが、スポーツ振興課にお聞きします。

今年、海水浴場の開設が中止となるということですが、今年は全国的にとっても暑い夏と言われています。SNSでは、海水浴場が開設中止となっても、監視員もいない中で勝手に海水浴をする方がいて事故が起きてしまう可能性があるのではないかと話題になっています。

函館市はこの辺りのことについて、考えていることはありますか。

神生涯学習文化課長

1つ目の質問について生涯学習文化課からお答えします。

アルコール消毒液の関係ですが、図書館に限らず貸室につきましては、部屋を借りる方に用意していただくことになっております。

万が一、忘れてしまったということがございましたら、管理者にお声がけください。

木村スポーツ振興課長

2つ目の質問について、スポーツ振興課からお答えします。

海水浴場開設中止に伴う水難事故を防止するため、幼稚園から大学まで注意喚起のチラシを配布したところでございます。

また、今年海水浴場の開設は中止となりましたが、周辺の監視業務については例年に引き続き、函館漁業組合の協力を得ながら警備員を配備するなどの対策を講じているところであり、事故を未然に防ぐための対応は出来ているものと考えております。

池田委員長

他にご意見、ご質問などはございますか。

水野委員

スポーツ開放についてスポーツ振興課長から説明がありましたが、これは例えば小学校などを利用してバドミントンなどができるということですか。

木村スポーツ振興課長

はい。

学校を利用してバドミントンやバレーボール、卓球などを行うという内容になっております。

水野委員

4月から利用が休止されており、今後の予定も未定だというお話がありました。利用施設が学校ですので、新型コロナウイルス対策で開放に慎重になっているということだと思います。

水野委員	私といたしましては、高齢者は運動をしばらく休むと次に再開する時には慎重に身体を動かさないと危ないということもあるため、運動を楽しみにしている高齢者のためにも、感染対策をとりながら出来るだけ早く開放する方向で考えていただければと思います。
木村スポーツ 振興課長	市民のみなさまや利用者みなさまからも、開放についてメールなどでご要望をいただいているところがございます。 しかし、学校は現在も様々な規制の中で運営しており、未だ通常通り行えていないことも多くあります。子どもたちの安全面も考えていかなければなりませんので、学校を開放できる状況が整いましてから、開放について考えていきたいと思っております。
池田委員長	他にご意見、ご質問などはございますか。
佐々木（学） 委員	生涯学習文化課の事業である成人式について質問いたします。 成人式の実施時期が成人の日である1月11日になっております。前回の会議で事務局から「成人式の開催日を成人の日の前日の日曜日に変更することにより、特に遠方から帰省して参加する方や平日に仕事を控えている方などにとっては、日程に余裕ができることでより成人式に参加しやすくなるということが期待できるという考えがあり、札幌市や近隣では北斗市などが成人の日の前日となる日曜日に開催している」というお話がありましたが、今年は日程の変更はないのですか。
神生涯学習文 化課長	前回の会議では委員のみなさまから、成人式の開催日は月曜日である成人の日よりは日曜日の方が良いのではないかという意見をいただいたところです。会議の時点で次の成人式まで1年を切っていましたので、日程の変更については更にその次の成人式に向けて検討しているところがございます。現在、高校生に対するアンケート調査などを行っているところであり、その結果も踏まえながら検討してまいりたいと思っております。
池田委員長	他に質問などございますか。 (なし)
長谷山文化財 課長, 阿部博物 館長, 神生涯学 習文化課長	(文化財課, 博物館, 各4教育事務所の順で各課長が資料に基づき説明)

池田委員長

ただいま、文化財課、博物館、各4教育事務所の事業について説明がありました。何かご質問、ご意見などはございますか。

(質疑なし)

よろしいですか。

他になれば6の報告を終わります。

スポーツ振興課長、文化財課長、博物館長は退席となります。

次に、7「その他」各自の生涯学習や社会教育に関する活動等について、各委員から発表をお願いします。

委員のみなさまには、委員の日頃の生涯学習活動や社会教育活動、ご自身の今取り組んでいるもの、取り組まれてきたことでも構いませんので、お一人1～2分程度でお話をいただきたいと思います。

このような機会を通して互いの活動を知ること、委員同士の繋がりの一助としていただきたいと考えておりますので、よろしくお祈いします。

では、最初の発表者ですが、はじめに私からお話させていただき、その後は、外崎委員、長谷川委員から座席の順に発表をお願いします。市田委員まで発表が終わりましたら、佐々木(香)委員が続いてください。

池田委員長

函館市青年センター長の池田と申します。

私は教育委員会生涯学習文化課所管の函館市青年センターという社会教育施設の運営をさせていただいております。

青年センターは青少年の教養の向上・健康の増進・情操の純化を目的に建てられた施設で、その目的を達成するためにいろいろな事業を実施しております。

私はセンター長という立場ですので、自身で事業を手がける事は少なく、基本的には事業全体を見るという事が大きな業務となっております。

事業としては、まずは貸館です。体育館・会議室・調理実習室・音楽室・視聴覚室といったいろいろなジャンルの団体が活動できる部屋が揃っており、そのようなお部屋を貸出しする仕事をしております。

ただ貸出しするだけではなく、年1回の利用者親睦会や利用者とのコミュニケーションを密にするなどして利用者の生の声を聞き、それをサービスに反映させるなど、より良い運営ができるように日々努めております。

次に教養講座です。ヨガ・体幹トレーニングなどの運動系、イタリアン・ラーメンなどの料理系、陶芸教室などの芸術系、子ども向けの自由研究の講座も実施しております。

池田委員長

これらは全て教育委員会が行っている「まなびっと広場」の対象講座であり、まなびっと広場に掲載することで市民の方に周知を図っております。

そのほか、サークル活動の発表会、サークル対抗スポーツ大会などを開催するなど、交流を深めてもらうイベントも多数ございます。

詳細は割愛させていただきますが、このような仕事を行っております。

外崎委員

北海道教育大学函館校教授の外崎と申します。私の主な活動は研究室の活動です。

社会見学として函館少年刑務所や、食育の観点から牛や豚などの屠殺現場である加工センターの見学を行ったほか、蔦屋書店さん・スターバックスコーヒーさんと協力し、交通安全や環境保護の啓発を目的としたイベントを開催いたしました。

現在は、市の健康増進課が行っている「はこだて市民健幸大学」や、地域福祉課が行っている「地域共生社会に係るワークショップ」(令和2年11月、令和3年1月開催予定)に関わっております。

これらは社会教育委員としての関わりではないので、私としては出来れば社会教育委員として生涯学習もしくは社会教育活動に携わりたいという思いがあります。

最後になりますが、今年度、私は北海道教育大学附属函館幼稚園の園長を兼務しておりますので、もし何か幼稚園で活動をしたいという事があれば、お声掛け頂ければ協力をさせていただきたいと思っております。

長谷川委員

本通小学校長の長谷川と申します。小学校長会を代表してここに来ておりますので、小学校の立場としてお話をさせていただきます。

2月の末から始まった新型コロナウイルスの蔓延の状況は、半年を過ぎた今もなお続いており、先行きが難しい中で学校運営をしております。小学校における至上命題としては、学習内容の定着と授業時間の確保です。いかに子どもたちにしっかり勉強をさせるかということが大切です。言葉で言うのは簡単ですが、なかなか大変なことです。覚えさせるという事だけでなく、様々な活動全てが学習ですので、学校行事も含めて子どもたちの成長を保証していかなくてはなりません。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け学校行事が縮減しておりますが、できるものに関しましては工夫をしながら実施しております。例えば修学旅行は、万一感染者が出た場合に備えて道外ではなく道内において1泊2日の日程で行います。見学先は函館市内の大船遺跡やその近郊を予定しております。子どもたちにとっては、地域を知るといことで大変勉強になるものと期待しております。修学旅行の行き先については、受入体制の調整もあり苦慮しているところです。

長谷川委員

本校（本通小学校）で言いますと大船遺跡の後に大沼で遊び、その後は松前に行く予定です。幕末の歴史を辿る、というテーマで実施したいと考えております。松前町もたくさんの学校が訪れて、いつもとは違う事になると思いますので、事前に連絡調整をしっかりと行いたいと思います。

文化施設・スポーツ施設などの社会教育施設も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施しながらの開館であり、通常とは違った形で運営されていることと思います。私としても、子どもたちの学習や運動の機会の場合として、夏休みなどに社会教育施設を積極的に利用するよう、子どもたちにチラシを配ったりしながら指導してまいりたいと思っておりますので、みなさまには大変ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしく申し上げます。

このほか、昨日、市民創作函館野外劇理事の方が本校（本通小学校）にご挨拶においでになり、函館野外劇が今年で33年目を迎えること、今年には新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら事業の実施を見送ること、函館野外劇に参加している子どもたちの中には小学校から高校まで継続して出演する子もいることなどについてお話をさせていただきました。

子どもたちが地域の人たちに必要とされているということも踏まえ、本校といたしましても来年はぜひ、函館野外劇に協力させていただきたいと思っております。

学校といたしましても、この状況を乗り越え頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

古俣委員

戸倉中学校長の古俣と申します。中学校長会を代表してこの会議に来ておりますので、中学校の立場としてお話をさせていただきます。

みなさまには子どもたちがいろいろな場でお世話になっておりまして、大変ありがたく思っております。

3月～5月の数ヶ月に渡る分散登校、簡易給食の実施など、通常の学校の教育活動ができない中で2ヶ月が経過しましたが、6月からは給食が始まるなど教育活動が再開されており、まず、ここまで来たことにほっとしております。

今後、インフルエンザや新型コロナウイルスの第2波・第3波が来るとも想定されますので、心配な部分はまだまだありますが、余裕こそないものの学校の教育活動もきちんと学びを進めることができしております。心と身体の健康と学びの保証ということで、授業の進み具合などについて保護者の方にも情報をお伝えしているところです。

また、行事が中止になったことにより生じた空き時間に授業を組み込むなど、入試対策を強化しておりますので、進路に関しましても今のところ心配はない状態です。授業をなるべく進めて、残った時間を補習に充てたいと思っております。

古俣委員

次に中学校の修学旅行ですが、1泊2日で行き先は道内です。

行き先については東北の方が安全ではないかという意見もありましたが、教育委員会から旅行先の感染状況の変化や旅行の途中で感染が判明し旅行が継続できなくなった場合を想定して、保護者が迎えにこれる陸路が良いというお話があり、道内に決定いたしました。

旅行先はニセコ・留寿都・洞爺辺りが中心になると思います。

宿泊研修については、今回は無理しないでという事で日帰りとなり、今のところ江差を中心に考えているところでございます。

2学期は文化祭があるのですが、3密を避けながらどのように開催するか苦慮しているところです。屋外での実施も検討するなど、いろいろ工夫しながらなんとか開催し、子どもたちの中に充実感など、何か価値あるものが残ればと思っております。

これから夏休みですので、子どもたちが地域の活動に参加させていただくこともあるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

谷川委員

市立函館高校長の谷川と申します。北海道高等学校長協会道南支部を代表してここに来ております。

はじめに、高校全般の事をお話します。

高校に関しましては、9月までは授業率を確保するため、行事はほぼ無くなっております。進路対策をとにかくやらなければならないということをメディアが取り上げており、ご心配をいただいているところではありますが、授業は淡々と進んでおり、生徒もしっかり勉強してくれている状況です。

次に本校の事をお話させていただきます。

本校に関しましては、今、申し上げましたとおり生徒は授業を本当に良く頑張っております。ただ、6月スタートで今の段階まで来たことから生徒は疲れており、いつもよりも保健室を利用する生徒たちが増えております。夏休みは明後日からなので明日までが授業となります。夏休みをしっかり取ってリフレッシュしながら、また学校に来ようね、という事を、明日、校長として生徒に伝えようと思っております。

また、市函に関しましては「函館学」という講座があり、授業のカリキュラムの中に入っております。例えばこの講座を取ったら1ポイント、この講座を取ったら2ポイント、検定を取ったら1ポイント、合格したら1ポイント、というように5ポイント貯まると1単位となっております。本当に上手に作った仕組みだと思っております。本日、ご紹介いただきましたような社会教育に関わる方や一般の方、大学の方の協力を得ながら、生徒たちが様々な体験をさせていただいておりますことに感謝申し上げます。

次に私個人のお話をさせていただきます。

私は4月に市函に赴任したのですが、以前は函館中部高等学校の定時制の教頭として3年間勤めており、その時に、はこだて検定の初級に合格いたしました。今度は上級試験を受けたいと思ひまして、はこ

谷川委員

だて検定合格者の会に入っております。そのほか、函館善意通訳会の会員でもあります。今年は豪華客船が来ておりませんが、この会の活動は客船に入行って、例えば市のウェルカムセレモニーの通訳をするというものです。この2つの会は、市函の求めているものとぴったりなのです。私は、自分の経験を交えながら、函館を好きな子ども、あるいは他の町に行つて「ああ、函館って良かったな、函館に戻つて来たいな。」と思つてくれる生徒を育成したいと考えており、これから仕掛けていきたいと思つておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

瀬戸委員

函館市文化団体協議会副会長の瀬戸と申します。

仕事は青山真理子の名前でタップダンスなどを教えていますが、3月からずっとお休みになっています。

文化団体協議会につきましても、舞台関係の方々、サークルの先生方も、みなさまお休みになるなど大変な事になっております。特に声を出す合唱、吹奏楽や舞台のように息を出すものは全く練習が出来ておりませんでした。最近になってやっと少しずつ教室を開けるようになって来たところですが、これからが大変だと思います。

私といたしましても、3月からずっと活動をお休みしているので、この先どういう風に教室を行つていくかをいつも協議しており、11月1日の函館市民文化祭へは是非参加しようということになりました。会場は芸術ホールで定員は800人なのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員が半分になっておりますので、その4割くらいの集客を目指しています。ギャラリーも60人までという制限があるので、カードを渡すなどの対応で人数制限を守りながら開催していこうと思つております。これからいろいろな作戦を練るところですが、何とか市民文化祭を成功させたいと思つておりますので、よろしくお願い致します。

市田委員

函館市スポーツ協会副会長の市田と申します。

この6ヶ月ほど苦しい6ヶ月はありませんでした。昨今、スポーツ協会にはいろいろな協会から要望が来ております。その1つは登録者の大きな減少に関する事です。登録者の減少ということは、直接協会の運営に支障をきたすので、これをどうしたら良いのかと考えております。

先ほど、学校開放の利用が中止されているというお話もありましたが、一般の方が練習不足であり、怪我をしたら困るので試合に出ることができないということが起きています。これも登録減少の理由になっています。中学校3年生や高校3年生も大会がないという理由から登録が全くない状況で、非常に厳しい運営を迫られております。

この状況をなんとかできないかと、市に補助金の要望をするなど、手探りで動いているところでございます。

市田委員

私の活動母体はバドミントン協会です。先日、ようやくアリーナでバドミントンの大会を開催いたしました。日本バドミントン協会のガイドラインとアリーナのガイドラインを遵守すると、体温計から消毒液などいろいろなものが必要になり、総額で13万円くらいの費用がかかりました。この費用は小さな協会にとっては大変大きな額になります。また、この度、7月の4日・5日に北海道バドミントン選手権大会を開催したのですが、その後2週間の間、何か起こったら大変だと、大変心配しながら過ごしておりました。7月19日にも、小学生のバドミントン選手権大会を開催したのですが、まだ2週間が経過していないことから心配な状況が続いております。8月1日・2日は戸倉中学校をお借りして中学生の大会を開催します。これは中学校3年生のために開く大会です。この大会もお盆過ぎまで心配な状況が続くこととなります。こういう状態がずっと続いており、この一年間はこのような振り回されるのではないかという気がしておりますが、致し方ないことだと思っております。

本来であれば今年はオリンピックの年でした。日本はバドミントンが強く楽しみにしていたのですが、本当に、何とかこの状況が治まり、来年はオリンピックを開くことができるようになればと思っております。

佐々木(香)委員

函館女性会議会長の佐々木と申します。

私たちの団体は35年前、函館市の男女共同社会を推進するために作られた団体です。活動内容につきましては、今お手元の方に資料を配付させていただいております。

東日本大震災の次の年である平成24年に、たまたま女性の視点から防災を学習しようということになり、男女共同参画と防災というテーマで防災学習会を開催いたしました。その出会いから、女性の視点で防災を伝えるという活動を毎年続けております。昨年度までの3年間は市民協働モデル事業として実施し、防災の学習を3年間みっちり行いました。私たちの団体は、女性の地位向上と男女の参画社会の推進が活動の目的ですので、決して防災の団体ではないのですが、どうしても防災の活動に力を入れてしまう余り、今、巷では函館女性会議と言えば防災と言われるまでになっております。「男女共同参画」と申しましてもなかなか一般の方には伝わりにくいので、防災という言葉キーワードにし、そこに男女共同参画の情報を乗せて、2つ同時に発信していきたいと思っております。

このほか、昨年度、第49回函館女性大会を開催させていただき、今、盛んに言われておりますジェンダー・LGBTの事について講演会を開催いたしました。前段は、LGBTが何か分からない方向けに基礎講座を行いました。講師は北海道教育大学教育学部函館校准教授の木村育恵氏にお願いしました。基礎講座の後は、NPO法人共生社会をつくるセクシャル・マイノリティ支援全国ネットワークの代表理

佐々木(香)委員

事をされている原ミナ汰さんから、当事者のお話をお聞きいたしました。

今年度に関しては、実は記念すべき第50回目の大会を開催する予定で計画を立てていたのですが、新型コロナウイルスの影響で、無期延期となっております。みんなの学校という映画の上映会を開催しようと考えており、ホテルも押さえていたのですが、この状況だと開催は難しいと考えております。みんなの学校という映画は、大阪の公立学校が、発達障がいの子どもたちや精神的な障がいを負っている子どもたちを他の子どもたちと一緒に受け入れて、地域全体で子どもを育てている姿を映した映画で、涙無くては見るできない映画です。函館のみなさんにもぜひ見ていただいて、地域で子どもたちを育てましょう、ということをお伝えしたいと考えておりました。

一方で、この新型コロナウイルスの影響で、未だ、一般の方々同士が関わりを持っていない状況ですので、そのことも踏まえ、映画の内容も含め、現在、再検討しているところです。

私は以前、社会教育委員をしていたことがあるため、この函館市社会教育委員の会議に出席するのは今回で3回目になります。初めて参加したのは社会学級で社会学級生連絡協議会の会長をしていた時で、ちょうど社会学級60周年記念大会を開催した時でした。

函館市女性会議も、女性教育、それから生涯学習の分野でも幅広く活動しておりますので、みなさまにもたくさんお世話になることと思っておりますのでよろしく申し上げます。

神田委員

函館市PTA連合会副会長の神田と申します。

まずは函館市PTA連合会について説明させていただきます。

実は、今年は函館市において全道大会(日本PTA北海道ブロック研究大会函館大会)を開催する予定だったのですが、新型コロナウイルスの関係で開催中止が決定しております。これに伴い同日開催を予定していた母親研修会も中止となりました。また、毎年開催していた新年交礼会も中止となっております。

このような状況ですから、今後の活動についてどうしていけば良いのか、先が見えない状況です。10月くらいから、少しずつソーシャルディスタンスを取りながら会長研修会などを開催していこうという話は出ておりますが、実際にできるかどうかは未定となっております。

次に私が行っている活動についてご報告いたします。

私は、南本通小学校のPTA会長をしており、その関係で南本通小学校の校長先生からコミュニティ・スクール地域コーディネーターとして任命を受け、現在、学校と地域をつなぐための活動をしております。子どもたちのためにも、学校教育と地域の課題の双方を見ながら、先生方が目指している教育をどのように地域と共に作っていくかという事を考えております。この活動は今年で3年目になります。

この活動の一環として、私たちは地域のみなさまと子どもたちをつなぐことを目的に毎年交流会を開催してきましたが、今回の新型コロナウイルスの影響で、今年は通常通りの開催は難しいということになりました。しかし、4月の辺りからこの事態を予測し、コミュニティ・スクールの担当の先生方と、接触をせずに交流を開催する方法について話し合ってきており、今回は、子どもたちから地域のみなさまにメッセージを送ることにいたしました。例えば、元気でコロナを乗り越えようね、などのメッセージです。地域のみなさまからは、メッセージのお礼として、七夕のお菓子をプレゼントしていただくことになりました。こういう新型コロナウイルス蔓延の状況下なので、リモート的な交流をすることになり、地域のみなさまには、子どもたちに代わって保護者がメッセージを届ける方法で交流を図ろうということになりました。

そのほか、新型コロナウイルスの影響で授業参観がないということもあり、保護者の方は子どもたちの様子を全く見る事ができておりませんので、私たちが子どもたちの動画を撮影し、南本通小学校の保護者の方に限定して公開するという試みも行いました。地域の方に対してはまだ公開していないのですが、今後、どのように公開していくのが適切かについて、現在、先生方や地域の代表の方と話し合いながら考えているところです。こうした地域交流をどのように行っていくかということが、PTA活動の課題となっております。

子どもたちのために、そして先生方が理想としている授業目的を達成するためにも、いろいろな方法を考えながら活動をしてまいりたいと思っております。

最後になりますが、社会教育委員として、いろいろな団体の方と連携を図りながら活動させていただきたいと思っておりますほか、PTAとして活動する中で、みなさまのお力添えをお願いすることもあるのでと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

NHK函館放送局 放送部長の吉川と申します。

みなさまからたくさん新型コロナウイルスの話題をお聞かせいただいたところですが、今日も東京で367人の感染が判明しており、NHKも新型コロナウイルスについて大変悩まされております。

指定公共機関ということで、きちんと新型コロナウイルスについてお伝えする立場ですので、現場に出て行かなければなりません。

感染者が現れた場合、他の職員も濃厚接触者となり自宅待機となれば、函館放送局は非常に小さな局ですので、放送自体が出せなくなり、戦線からの離脱を余儀なくされます。これは非常にリアルな想定であり、いかに濃厚接触者を少なくするか、万が一という時にも、このような自体にならないようにと、毎日薄氷を踏むような思いで過ごしております。

函館放送局は地域の放送局であり、地域の応援団としての役目もご

吉川委員

ございますので、こういった深刻な状況をお伝えするほか、なるべく明るい話題、未来につながるよう地域のみなさまの取組みについても、ぜひ、お伝えしたいと思っております。もし、そのような取組みがございましたら、ぜひご一報いただければと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

最後に、来月の3日（月）から6日（木）まで、道南向けの夕方6時50分の枠において、去年まで恒例で開催されていた夏のイベントである夏祭り・港まつり・野外劇など、過去に取材させていただいた映像を振り返りながら、関係者の方々の来年にかける思いなどを紹介する放送をお送りいたします。よろしければぜひ、ご覧ください。

佐々木（学）委員

北海道新聞 報道部長の佐々木と申します。

北海道新聞の夕刊に、別刷りで「みなみ風」という紙面があり、芸術・文化・スポーツ・それから学校教育、市民の暮らしの様々な話題を紹介しているのですが、新型コロナウイルスの影響で、文化芸術活動・スポーツ大会・学校行事など、殆ど全ての行事が実施されないため、掲載する記事が無くなってしまいました。

また、新聞記者は様々な人と出会うことから、感染を心配する方から取材が拒否されるなど、いろいろ困難なこともございました。

そこで、みなみ風は本来であれば別刷り4ページなのですが、3月9日にフロント面の1面と最終面の2面だけにして、夕刊の本紙と一緒に印刷する事にいたしました。

みなみ風は1996年にはじまり20年以上続いているものですから、本当に多くの方から、みなみ風が無くなったことを惜しむ声が寄せられ、私どもも、本当に苦しい思いをいたしました。市民に愛されている紙面なんだと痛感した次第です。

6月に入り社会活動も徐々に再開してまいりましたので、6月22日にみなみ風を復活いたしました。ただ、やはりまだお祭りなどの伝統行事やスポーツ大会などのイベントが少ない状態ですので、新しいコーナーを企画するなどして、現在も紙面を作っております。例えば新型コロナウイルスに対する読者からの投稿、外部ライターからの寄稿で作る評論コーナーなどを作りました。その中で5月11日に函館演劇鑑賞会の鈴木 順子事務局長に原稿をいただきました。北海道の緊急事態宣言が終わって間もない頃の3月5日、函館演劇鑑賞会（「劇団こまつ座」井上ひさしさんの作品を上演する劇団）は、「イヌの仇討」という演劇を上演されたのですが、上演して感染者が出たらという不安など上演するまでの様々な葛藤や、演劇が上演できないことにより劇団員の収入が途絶え、ひいては演劇文化が途絶えてしまうのではないかということへの苦悩、悲しみ、そういった思いを原稿に書いていただきました。見出しでは「不動の上演 表現の場、絶やさず」というタイトルで紹介したのですが、本当になかなか切々とした心情が綴

佐々木(学)委員

られていて、とても胸を打たれました。文章の中に「表現者にとって、何の保証もない闇の様なところにいる」という一文があり、新型コロナウイルスの影響で文化活動が危機に晒されたという事を、このような表現で伝えておられます。

感染防止対策を図ること、経済活動を回復させることはもちろん重要です。しかし、ドイツのメルケル首相が文化・芸術の支援は最優先課題だと言っておりますように、函館演劇鑑賞会の方も、文化活動を守るということに力を注がれたのではないかと思います。

最後にお知らせですが、来週月曜日の8月3日、演劇活動の重要性を訴えておられる平田あきらさんを講師にお招きし、道新函館政経文化懇話会を12時半から五島軒で開きます。

この講話会は2月に開催したのが最後であり半年ぶりに開きます。会員の方が対象ですが、非会員の方も2,000円で聴講出来ますので、もし来られる方は事前にお電話頂けましたらと思います。

鄭委員

鄭と申します。

現在、函館を中心にマーケティング活動をしております。

私は地域社会の満足度の向上のためには、社会教育は絶対に必要だと思っており、自分も何かできることはないかと考え、いろいろと活動をしております。私の専門はマーケティングですので、地域の住民向けに賢い消費者になる為にはどうしたら良いかということをしてラジオで話したり、地域住民を対象とした韓国語講座、韓国文化の紹介、韓国の料理教室などの活動を行っております。

料理教室は、新型コロナウイルスの関係で危ないということなので今は中止しておりますが、開催方法の見直しを図るなどして再開したいと考えており、今後、検討を重ねてまいりたいと思っております。

微力ですが、函館の社会教育に少しでも力になればと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

水野委員

水野と申します。

私は体育の教員として現場一筋に47年間、子どもたちと一緒に身体を動かしてまいりました。

退職後は非常勤講師としてスポーツ科学を担当し、一昨年まで、檜山の児童の体力向上のために、例えば体幹講座を補佐するなど、いろいろな協力をしてまいりました。

これからは、私のこれまでの経験を生かし、函館市や一生懸命に活動されている方のために何かお役に立ちたいと思っておりますので、何かございましたら、教えていただければと思っております。

一生懸命に取り組みますので、どうぞよろしくお願ひします。

池田委員長

みなさま、ありがとうございました。

それでは、ただいまの各委員の発表についてもう少し内容を知りたいですとか、質問など、何でもかまいませんので、どなたか発言したい方はありますか。

(質疑なし)

みなさまのお話をお聞きして、やはり新型コロナウイルスの影響が焦点になっているところが多くあるように思いました。

活動が制限されたり、市田委員のお話にもありましたように感染対策のために多くの経費を使わなければならなかったりと、活動に支障が出てきていると思いました。

明るい話題としては、授業数の確保や行事をどう開催するかなど、様々な問題がありながらも、生徒たちがとてもがんばっているので授業も遅れはなく大丈夫だ、というお話をいただきました。

P T A活動について神田委員からお話があり、接触をしなくても学校と地域が交流できる方法を考えるなど、工夫して活動されているということを知り、安心した部分もあります。

今後こういう状態がどこまで続くか分からない状態ですが、折角ご縁があつて社会教育委員としてみなさまが集まっているので、社会活動、社会教育活動を衰退させないように努力していければと思っております。

事務局から他に何かございますか。

神生涯学習文化課長

今年4月に、本市を含む2市9町の社会教育委員で構成されている渡島社会教育委員連絡協議会において、本市の委員長が当協議会の副会長となることが決議されましたのでご報告いたします。当協議会の役員は構成市町の持ち回りで務めており、任期は2年間となっております。

また、10月に本市で開催を予定しておりました第60回北海道社会教育研究大会についてですが、主催者の北海道社会教育連絡協議会より新型コロナ感染拡大のリスクを回避するため、1年延期する旨の通知がありました。今後、新たな動きがありましたら次回の会議の時にご報告いたします。以上です。

池田委員長

ただいまの件、よろしいですか。

(質疑応答)

それでは、事務局から他に何かございますか。

神生涯学習文化課長	次の会議につきましては、また改めてご案内いたしますので、よろしく申し上げます。
池田委員長	以上で、本日の会議を終了しますので、進行を事務局にお返しします。 みなさま、お疲れ様でした。
円山生涯学習文化課主査	これを持ちまして、第1回函館市社会教育委員の会議を終了したいと思います。 ありがとうございました。

以上、令和2年度（2020年度）第1回函館市社会教育委員の会議の会議録とする。

委員長 池田 孝道